資料－１

【山梨県道路交通円滑化・安全委員会　第３回委員会　議事内容】

第３回　山梨県道路交通円滑化・安全委員会

日　時：平成 18 年 3 月 28 日（火）10：00～12：00
場　所：ウェルシティ甲府 3F「富士の間」

■委員会出席者

	山梨大学大学院教授	西井　和夫（委員長）
	山梨県タクシー協会長	小澤　照彦
	(社)山梨県バス協会専務理事	笠井　矩善
	(財)山梨県交通安全協会専務理事	窪田　正英
	(社)日本自動車連盟山梨支部長	櫻井　　洋（代理出席）
	山梨県交通安全母の会連合会長	鷹野　和子
	(社)山梨県トラック協会長	中村　昌訓
	山梨経済同友会代表幹事	望月　操三
	甲府商工会議所卸売部会副会長	八巻　珍男
	山梨県土木部道路整備課長	小野　　忠
	山梨県土木部道路管理課長	山村　茂雄
	国土交通省甲府河川国道事務所長	廣瀬　昌由
（オブザーバ）	山梨県警察本部交通規制課長	深澤　寛幸（代理出席）

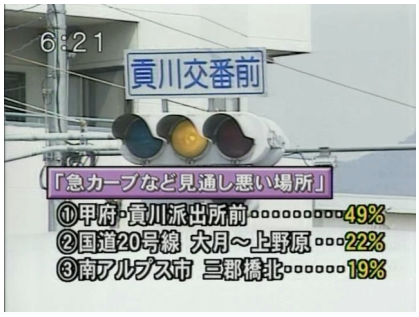
（敬称略）

■審議内容

(1)パブリックコメントの実施結果について
(2)道路交通円滑化対策優先箇所の選定について
(3)交通事故対策優先箇所の選定について
(4)対策優先箇所に対する今後の対応について

■委員会における主な意見

・円滑性及び安全性箇所について、合わせて検討をしていく必要がある。
・優先対策箇所に対して要因分析、短・中・長期的な対策を分析していくことが重要である。



UTYニュース
(平成18年3月28日放送)

渋滞解消39カ所急務

国母や中小河原交差点

道路円滑化 安全委が選定

県内の交通渋滞対策について話し合う「県道路交通円滑化・安全委員会（委員長・西井和夫山梨大大学院教授）」は二十八日、甲府・国母交差点など渋滞解消策を優先させる三十九カ所と、笛吹・石和橋西交差点など早急な事故防止対策が必要な四十七カ所を選定した。

道路を管理する国土交通省や県は、標識の整備や交差点の改良を通じて、渋滞解消と事故防止を図っていく。

ウェルシティ甲府で開かれた会合には行政や警察、道路利用者団体などの関係者ら約二十人が出席。優先対策が必要な個所は、移動にかかる時間などのデータと今年一～二月に実施した県民アンケート調査を踏まえて抽出した。

県民アンケートでは、渋滞に巻き込まれたことがある個所で最も多かったのは国母交差点の八百四人。甲府・貢川派出所前交差点（二百三十六人）、甲府・中小河原交差点（二百二十四人）が続いた。

また、事故を経験したり事故に遭いそうになった個所別では、国母交差点の四十三人が最多だった。次いで甲府署前交差点（二十二人）、韮崎・船山橋北詰め交差点（十七人）、甲府・向町一交差点（十七人）の順だった。

国土交通省などは抽出された個所について、道路拡幅や路面表示の充実などの対策を実施。対策実施後は事故や渋滞データの収集や地域住民の意見収集を行い、効果を点検する。

渋滞解消策と事故防止対策が必要な個所を選定した委員会＝ウェルシティ甲府

平成18年3月29日
山梨日日新聞　24面